

令和6年度 県立竜ヶ崎第二高等学校自己評価表

目指す学校像	1 社会に開かれた活力と意欲に満ちた学校 2 確かな学力と豊かな心、健やかな体を育成する学校 3 社会の諸課題に対応して生き抜く力を備えた人財が育成される学校 4 望ましい勤労観、職業観を持ち、地域社会を担うために必要な資質能力を身に付けた人財が育つ学校				
三つの方針		具体的目標		評価	次年度(学期)への主な課題
「三つの 方針」 (スクール・ ポリシー)	「育成を目指す資質・能力に関する方針」 (グラデュエーション・ポリシー)	(長期的目標) ・社会の諸課題に対応して生き抜く力を備えた人財 ・望ましい勤労観、職業観を持ち、地域社会を担うために必要な資質能力を身に付けた人財	B	B	持続可能な社会の担い手として、たくましく生き抜く力を備えた人財の育成を図る。
	「教育課程の編成及び実施に関する方針」 (カリキュラム・ポリシー)	(中期的目標) ・生徒一人一人の多様な学習ニーズに対応した学習活動とキャリア教育による、就職から大学進学までの幅広い生徒の進路希望の実現	B		ICTを積極的に活用し、主体的・対話的で深い学びが実践できる授業方法の改善を推進する。
	「入学者の受入れに関する方針」 (アドミッション・ポリシー)	(短期的目標) ・学校や社会の規律を守って日常生活を送ることができ、学校行事、生徒会活動、部活動、ボランティア活動などに取り組む意欲のある生徒	B		本校アドミッション・ポリシーを、学校説明会、学校公開やウェブページでの広報活動を通じて受検希望者に明確に周知していく。
昨年度の成果と課題		重点項目	重点目標		達成状況
<成果> ○創立100年を超える長い歴史と伝統を受け継ぎ、落ち着いたある学習環境の中で、生徒は明るく伸び伸びとした学校生活を送っている。大学・短大進学者は、前年と同様に伸びていて、看護学校をはじめとする医療系への進学者も増加している。また、学校斡旋による就職率はほぼ100%。 ○1年次の国語や数学における習熟度別やTTでの授業展開や、生徒指導における段階的指導の導入により、基礎学力及び授業への集中力が向上している。 ○部活動の加入率は約3割弱ではあるが、バスケットボール部をはじめ、陸上競技部・弓道部・ライフル射撃部など運動部で実績を残している。 ○商業科・人間文化科においては、資格取得を目標に、各種検定試験合格に向けた熱心な指導が行われている。4冠王となる生徒もいる。 ○龍ヶ崎市役所・商工会・地元企業等との交流により、コミュニケーション力の向上が見られている。 ○商業科と人間文化科の生徒たちがコラボして、「龍ヶ崎で収穫できる食材」を使用したメニューを考案し、賞を獲得している。		確かな学力の育成	① 主体的・対話的で深い学びの実現のための BYOD 端末等の活用 (ロイロノートの積極活用) ② 指導と評価の一体化を図り、観点別評価の充実を推進 ③ ICT 機器を活用した授業実践により、基礎学力向上や探究活動における協働的な学びを促進し、柔軟かつ多様な指導を実現 ④ 教科等を横断した探究活動を通じた課題解決力能力の育成と発表等による表現力の醸成		A
		授業改善の推進	⑤ 生徒による授業評価での授業満足度を 3.3 以上にすることを目標とし、積極的な研究授業や授業互見等による各教員のメタ認知力の向上		A
		生徒の希望や目標の実現	⑥ 資格取得試験の受験支援や課外指導の充実		A

別紙様式2 (高)

<p><課題> ○My りゅうプロジェクト(県立高等学校等チャレンジプロジェクト)を生かし、地域社会と連携した教育活動を推進するとともに、学科等の枠を超えた3年間の系統的、計画的な探究活動を推進する。 ○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた教員研修と実践に努める ○基礎学力の定着を図る必要がある生徒が多数入学している現状を踏まえ、習熟度別授業やICT機器を活用するなど、きめ細かな授業を行う。 ○ICT環境を生かした教育活動を展開するための研修を実施し、ICT機器の活用のノウハウを教員間で共有し、連携を図る。 ○生徒の第一希望の進路実現に向けた指導の充実を図る。 ○部活動の内容を充実させることで、加入率の向上を図る。 ○面談や定期的なアンケート、保護者との密接な連携等とおして、生徒理解に努め、充実した学校生活を送れるよう支援する。 ○昨年の広報状況を分析し、積極的なPR活動を行うとともに、学校HPやスクールガイド等による広報活動の一層の充実を図る。 ○会議・委員会等の種類及び回数を見直し、校務分掌や各種委員組織の再編を進め、教職員の業務の軽減、平準化を図る。</p>	社会で活躍するための基礎的な力の育成	⑦ 生活マナーや規範意識の向上と安全能力の育成 ⑧ HR・生徒会活動への支援や学校行事の充実 ⑨ 個別面談や定期的なアンケートの実施と教育相談の充実	B
	キャリアパスポートの運用	⑩ 過去の進路計画をもとに将来を見通した3年間の組織的・系統的なキャリア教育体制の構築	B
	社会に開かれた魅力ある学校づくり	⑪ ボランティア活動および地域の活動への積極的参加 ⑫ 近隣の小中高校との教育交流及び地域と連携した取組 ⑬ 学校ウェブページの充実や学校案内等を活用し、教育活動の情報を広く発信	A
	働き方改革への取組	⑭ ワークライフバランスを意識した教職員の業務改善 ⑮ 取組についての生徒、保護者等への周知	B

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題
国語	授業改善を通じて基礎学力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態を把握し、授業改善を行うことにより内容を工夫した授業を展開する。⑤ 漢字、現代文単語等の一般常識分野を学習する時間を継続的に設けるとともに、それぞれの学年に応じて小テスト等を実施し、定着を図る。① 	A	・ロイロノートを活用などICTを積極的に活用し、授業を展開することができた。生徒の主体性を育む授業改善の取り組みを引き続き続けていきたい。 ・漢字検定の受検希望者が年々減り、課外の実施が困難になっている。意欲を喚起する取り組みが必要だ。
	個に応じた指導の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ロイロノートなどのICT機器を効果的に活用しながら、すべての生徒が主体的に学習に取り組めるよう支援する。① 3学年古典探究において、TT授業および少人数授業を展開し、個に応じた指導を行う。① 	A	
	進路に応じた指導の徹底を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 小論文指導について学年と連携をとりながら、進路実現を見据えた指導を計画的に行う。⑥ 進路希望に応じて選択できる課外のコースを設置し、生徒の進路実現を支援する。⑥ 	B	
			B	
			B	
地歴	基礎学力の向上や授業改善を図る	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の実情・興味関心に応じた授業を展開する。①②③ 本時のまとめの内容などから理解度を把握し、授業改善を図る①②③ 	B	・新学習指導要領に対応した評価について、年度当初だけでなく、学期ごとに説明を行う。 ・多様な進路に対応できるように、各種試験の対策も行っていきたい。
	思考力・判断力・表現力を育てる授業を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的な手法を取り入れることで、深い学びを実現する環境を作り出す。①③ ICT機器を活用し、ビデオや画像などビジュアルな手法を授業に取り入れ、考え気付かせる授業を展開する。①③ 	A	
			B	
	個に応じた進路実現を考えた授業展開を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 一般常識の見識を高め、大学受験から就職試験まで対応できる力を身につける。②④ 	B	

別紙様式2 (高)

公 民	基礎学力の向上を図る。	・生徒の実情・興味関心に応じた授業を展開する。①②③	B	B	・新学習指導要領に対応した評価について、年度当初だけでなく、学期ごとに説明を行う。 ・多様な進路に対応できるように、各種試験の対策も行っていきたい。
		・インターネットやワークシートを活用し、身近な教材を取り入れることによって理解しやすい授業を展開する。①②③	A		
	思考力・判断力・表現力を育む授業力向上。	・主体的・対話的な手法を取り入れることで、深い学びを実現する環境を作り出す。①③	B		
		・新聞などを活用するとともに、ICT機器を活用しビジュアル教材を授業に取り入れ考え気付かせる授業を多くするなど授業改善を図る。③	A		
	政治的教養を高めるための授業展開を目指す。	・新聞・ニュースなどを活用することで、政治的教養を高められる授業を展開する。②④	B		
数 学	数学的なものの見方を身につける。	・ICT機器の活用等で授業を工夫し、魅力ある教科指導に努める。③	B	B	・苦手生徒への指導の工夫を図る。 ・学校としての学習習慣についての指導の強化を図る。 ・課外への参加率の向上（学校として課外の日に会議を入れないようにする）
		・理解が不十分な生徒へは補習等を実施し、理解度の向上を図る。②	B		
	基礎学力の向上や授業改善を図る。	・教科書に限らずプリントや問題集を活用し、十分な演習を行う。①	A		
		・課外や数学検定に積極的に取り組ませる。⑥	C		
		・授業の様子や生徒の授業評価を基にした、ニーズに合わせた授業を展開する。⑤	A		
	進路実現に必要な指導を行う。	・生徒一人ひとりの進路希望に対し、必要に応じて個別指導を行う。⑤	B		
理 科	基礎学力の向上や授業改善を図る。	・教科書だけでなくプリント等を活用し、生徒達の理解度を確認しながら授業を展開する。②	A	A	・多くの実験をすることができ、科学的な興味関心を育てることができた。 ・ICT活用を積極的に行い、効率的な学習を定着することができた。
		・ノートや実験レポートの提出を徹底させる。実験レポートに振り返りの項目を設置し、教員の授業改善に努める。⑤	A		
		・演習や小テストを実施し、理解を深める。④	B		
	関心・意欲を高める指導法の工夫改善に努める。	・生徒実験、演習実験を通して理解と興味関心を高める。また、実験を通して協調性を育てる。③	A		
		・グループ活動を通して対話のある授業を展開する。③	B		
		・ICT機器を用いて、動画などを見せ、自ら調べることを通して、科学的な興味を高める。②	A		
		進路実現に向けた指導を目指す。	・基本的な問題を通して一般常識の見識力を高める。③		
保健体育	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを理解できるようにする。	・各種目のスキルテストや体力テストを通して、個人の習熟度や運動能力の成長を確認させ、授業改善に生かす。①	B	B	・ICTを活用した授業を積極的に取り入れ、生徒が振り返りやすい工夫をしていきたい。 ・運動時間の確保や生涯スポーツとして運動することの楽しさを得られるようにしていきたい。
		・主体的かつ意欲的にスポーツに取り組む姿勢を育てる。⑤	B		
	公正、協力、責任等の態度を育て、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。	・生活習慣病の予防と運動には大きな関係があることを理解させる。②	B		
		・いろいろな種目に取り組みせ、生涯スポーツを見つけさせる。②	B		
		・時間やルールを守らせ、自ら進んで活動させる。⑦	A		
		生涯を通して自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。	・健康の考え方や保持、増進について理解させる。①		
		・適切な食事、運動、休養及び睡眠などが、健康的な生活習慣に必要であることを理解させる。④	B		
芸 術	音楽に関する基礎知識を定着させる。	・小テストで基礎知識の定着を図る。⑤	A	A	・楽器演奏や合唱など実技をより多く取り入れ、音楽の授業でしか体験できないこ
		・日常生活で聞く音楽との関連を理解させ興味関心を深めさせる。また生徒が自主的に音楽制作や楽器演奏に興味が出たときの手助けになる	B		

別紙様式2 (高)

		よう授業を構築していく。③			
	音楽自体の関心を高められるように努める。	・生徒が日常生活で聞いている音楽の傾向を理解し、その上で生徒が興味・を持てる音楽やジャンルについて解説し、音楽の授業への関心を深めさせる。①	B	B	とを増やし、授業に対する興味関心を高めていきたい。 ・ICTを活用した授業を、生徒の思考の幅が広げられる授業に結びつけるために活用方法をより検討していきたい。 ・音楽が苦手な生徒に対して、1つでも得意な分野を提供できるようにより様々な知識を生徒に提供していきたい。
		・教科書にのっていない深い知識を提供し、作曲家や歴史への興味を高める。④	A		
	生徒の主体的な行動を促す。	・評価の基準を明確にし、生徒が意欲的に取り組めるよう図る。⑤	B		
		・グループやペア活動を行い、生徒同士のコミュニケーションで知識を補い、クラス全体の音楽への意欲を高めさせる。②	A		
	生徒の苦手意識の克服を図る。	・歌や楽器演奏に対する苦手意識を克服させるために、生徒の興味があるポップスなども取り入れながら授業を進めていく。①	C		
		・音楽の授業で学んだ知識や経験が少しでも生徒の将来の糧になるよう、生徒の意見や意思に寄り添いつつ教科書だけにとらわれない授業を試みる。④	A		
外国語	意欲・関心を高める指導法の工夫・改善に努める	・ペア活動やグループ活動、ALTとのティームティーチングなどを通して、生徒自身が英語を使用してコミュニケーションを行う機会を提供し、お互いが協力し合う学習環境を整える。①	A	B	・ICTを取り入れた授業をさらに工夫していきたい。 ・ICT機器を用いたパフォーマンステストを各学期に1回以上取り入れたい。 ・英検の合格率向上のために課外を集中的に開きたい。来年度は新しい級の新設もあり、その対策にも力を入れたい。 ・英検の取得率向上のための声掛けを徹底したい。
		・ICT機器を用いたパフォーマンステストや発表活動等を通して、個の目標に応じた指導を展開する。②③	B		
	個の能力に応じた指導を展開する。英語検定の資格取得に努める。	・学力上位層の生徒に対して、積極的に進学課外の受講・英語検定の受験を促し、各生の自信に繋げる指導を行う。②	A		
	基礎学力の向上や授業改善を図る。	・普段の授業からワークシートや発問のレベルを複数段階設けることで、生徒を飽きさせずさらに上のレベルに上がるような動機付けと支援を行う。②	B		
家庭	基礎学力の向上のための授業改善を図る。	・生徒の能力に応じた、教材・教具の開発を図る。⑤	A	A	・各種検定の合格において、基礎学力の向上を養いたい。 ・探究学習発表会を意識した研究を進めることができた。 ・地域との交流をコロッセウム開発を通じて行うことができた。 ・生徒一人一人のスキルアップを目指し、礼儀作法の指導を徹底する。
		・基礎的な学習や実技を繰り返し行うことにより、基礎学力・基礎技術の定着を図る。⑤	A		
		・指導と評価の一体化を図り、観点別評価の充実を推進する。②	A		
		・「主体的・対話的で深い学び」の視点で、ICTの活用率を高め、授業の記録を丁寧に残し授業改善を行う。①③④	B		
		・TT授業、外部講師や県のものづくりマイスターを利用することにより、技術の定着を図る。①	A		
		・様々なコンテストでの上位入賞を目指す。③	A		
		・生徒が各検定に真剣かつ意欲的に取り組めるよう、丁寧な指導を心がけ、合格率90%以上を目指す。また、生徒の向上心を培う。⑥	A		
資格取得に努める。					
社会体験学習の充実を図る。	・自ら進んで考え行動する能力と責任感を身につけさせる。④	A			

別紙様式2 (高)

	介護実習 保育実習 学校家庭クラブ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・礼儀や丁寧な言葉遣い、挨拶、マナーを身につけさせる。⑦ ・家庭クラブ活動をとおして、地域社会との連携を図る。地域への情報発信の強化に努める。⑩⑪⑫⑬ ・奉仕活動やエコ活動をとおして、環境問題・社会問題に関心を持たせる。④ 	B		
			A		
			A		
情 報	情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身につける。	・科学的な根拠に基づいた判断力を身につけさせる。①	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・情報社会を生きるための生徒自身の役割や及ぼす影響について、十分に理解することができるようになった。 ・生徒の今後の絶え間ないスキルアップを目指す。
		・合理的に解決方法を選択する力を身につけさせる。①	A		
		・過程を振り返って改善する力を身につけさせる。④	A		
		・情報及び情報技術を問題の発見と解決に、効果的に活用するための技能を身につけさせる。④	B		
	情報に関する法規や制度、情報セキュリティ・情報モラルの重要性、情報社会における個人の責任について理解する。	・法律や制度・情報セキュリティや情報モラルの意義を理解させる。⑦	A		
		・バックグラウンドの情報技術を知って適切に対応する力を身につけさせる。⑦	A		
情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・人に求められる仕事の変化を理解させる。⑩ ・情報社会をよりよくする方法・対応を考察し提案する力を身につけさせる。⑥ 	A			
商 業	基礎学力の向上のための授業改善を図る。	・学び直しを含めた基礎学力の向上を図り、生徒の能力に合った授業の工夫や指導方法の改善に努める。③	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に対する生徒の興味・関心を促し、見ること、聞くこと、話し合うこと等のバランス良い展開をする。 ・それぞれの資格取得の目的を明確にすること。資格は独立したものではなく連携したスキルということを理解させ、進路活動を始めとして自己肯定感や学習に対する達成感を持たせる。
	職業人の育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育として職業人に求められる倫理観、マナーや常識を身につけさせ、社会人として必要なコミュニケーションスキルを身につけさせる。⑦ ・主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業や実技の学習をとおして、自ら学び協働的に取り組む態度を養う。④ 	B		
	資格取得に努める。	・生徒の能力に見合った基礎級の合格率向上に努めるとともに、より高度な上級資格の取得を目標とさせる。⑥	B		
		・資格取得により自信を持たせ、生徒の学習意欲を高める。⑥	B		
			B		
教務部	授業の工夫や改善を図る。	・生徒による授業評価及び、互見授業により、授業の工夫や指導方法の改善に努める。④⑤	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導の質的向上のため授業改善推進チームとの連携とともに、相互授業参観や研修の機会を増やす。 ・引き続きICT機器の活用を含めた校内外での研修等の充実をめざす。 ・本校希望者に繋がる広報活動を活発化する。 ・図書委員のより主体的な活動および強化をめざす。
	目標実現のための学習意欲の向上を目指す。	・習熟度別授業の展開や資格取得支援、課外指導など、個に応じた指導の充実を図る。⑥	B		
	ICT環境の活用を推進する。	・ICT機器活用のための環境整備を継続し、校内研修を通じてICT機器活用のノウハウを教員間で共有し、連携を図る。①③	A		
	広報活動の推進と充実を図る。	・本校の魅力をWebページやスクールガイド等で発信するとともに、地域と連携した事業に取り組む。⑬	A		
	図書館利用を促進し、施設の整備を図る。	・掲示物の工夫や「図書館だより」の定期的な発行により、生徒の興味関心を喚起させ、図書館利用を促進する。⑧⑬	B		
・図書委員や放送委員を活用し、学校への帰属意識を促進する。⑧		B			

別紙様式2 (高)

生徒指導部	基本的な生活習慣の確立を図る。	・全職員の協働意識を図り、頭髪及び服装指導の徹底を図る。⑦	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・一年を通し、多くの職員で登下校時の挨拶活動を通して服装等の指導にあたることができた。 ・しかし、寒暑が厳しい気候の際、生徒の服装等についてはより一層、臨機応変な対応が求められる。 ・生徒達が安心・安全な学校生活を送れるよう、些細な事でも教員間で情報を共有し、引き続き対応していく。 ・さらに、生徒指導部だけではなく、全教員が一貫性を持った指導ができるよう、協力し合う体制を構築していきたい。 	
		・登校指導等を利用し、あいさつの励行に努める。⑦	A			
		・スマホ、携帯電話の使用モラルの浸透を図る。⑦	B			
		・集中して授業に取り組ませるための授業環境の改善を図る。⑦	B			
		・定期的なアンケート調査や面談を実施し、実態把握と未然防止に努める。⑨	A			
		・問題を抱えている生徒の実態を把握し、関係職員との情報の共有化を図りながら支援していく。⑦⑭	B			
生徒指導部	いじめ問題の未然防止に努める。	・学年と協力し、問題行動があった場合は保護者に来校を促し、学校での状況、指導を十分理解してもらった上で効果的な指導を進める。⑦⑮	A	B		
		交通安全の推進、意識の高揚を図る。	・自転車や原付バイク通学者の事故未然防止のため、乗車モラルの向上と交通法規の遵守を図る。⑦			B
		保護者との連携強化を図る。	・些細なことでも、行動に変化が見られたり問題があった場合には、保護者へ連絡を入れ、情報を共有しながら支援にあたる。⑦⑮			B
		教育相談の充実を図る。	・いつでも、ゆったりとした気持ちで相談活動ができるよう相談室の環境整備を行う。⑨			B
			・カウンセラーによる教職員研修会を企画する。⑨			B
進路指導部	適切な進路目標の設定支援に努める。 進学学習の充実を図る。	・進路説明会や講演会、適性検査等をとおして意識の高揚を図る。⑧⑩	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年とも生徒の適正に応じたガイダンスを適宜行い進路意識の高揚を図る。 ・安易な進路決定と決定後の進路変更が起きないように、面談や定期的進路調査、保護者との密接な連絡等をとおして、生徒理解に努める。 ・面接指導のための資料の収集・情報の共有等職員のスキルアップが必要である。 ・求人票のPDF化の定着と検索業者の導入により、更なる情報提供の効率を図る。 ・大学、短大、専門学校、企業、ハローワーク等と連絡を密にし、的確な情報収集に努めたい。 	
		・的確な各種進路情報を会議資料や三者面談等をとおして、職員や生徒・保護者に向け迅速に提供する。⑧	B			
		・課外授業や模擬試験を充実させ、基礎学力の向上を目指す。⑥	B			
		・小論文や面接指導の充実を図る。⑥⑩	B			
		・手帳やICT機器を活用し、自己管理能力を育み、学習習慣の定着を図るとともに、よりよい自己管理能力のあり方を検討・実施する。①	A			
		・就職希望者の保護者への面談(3年)、インターンシップ(2年)、会社見学を実施する。⑩	B			
		就職指導の充実を図る。 (キャリア教育の充実)	・就職ガイダンスや模擬試験をとおして就職試験対策の充実を図る。⑥			B
			・就職希望者が正社員として就職できるよう、学年の先生方とともに計画・指導を行う。⑥⑧			A
			・ホームルーム活動や学校行事・進路行事をとおして得たもの等を生徒が振り返る機会を設け、生徒自身のキャリア形成に活用できるよう促す。⑥⑩			B
		キャリア・パスポートの活用を図る。	・大学、短大、専門学校、企業、ハローワーク等と連絡を密にし、的確な情報収集に努める。⑩			A
保健厚生部	環境美化や衛生管理に対する意識を高め、豊かな心身を育む学習環境の整備	・用具を整備して清掃能率が高まる工夫や、ゴミの分別を心がけることにより、校内美化への意識高揚を目指す。⑦	B		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の清掃活動で校内美化が保たれている。特にゴミの分別の 	

別紙様式2 (高)

	を進める。	・校内設備環境の安全に配慮し、安全管理に努める。⑦	B	B	意識が高まった。 ・今年度も雨天で簡略した避難訓練となったが、生徒は毅然とした態度で臨んでくれた。地震も頻発しており、東日本震災の経験が風化しないようにしたい。 ・今年度も全ての健康診断を無事に終えることが出来た。ご協力いただいた授業の先生方の厚意に感謝申し上げたい。 ・保健室に来る生徒の理由が多様化しており、養護教諭の負担が大きいと感じる。
	さまざまな震災から学び、安全確保や危機管理に関する安全教育を推進する。	・防災避難訓練を実施し、非常時における対応や安全対策に関する知識と意識を高める。⑦ ・災害備蓄品の在庫や賞味期限等を管理する。⑪	B B		
	心身とも健康で明るく活力のある生活を営む態度の育成を目指し、健康教育や学校保健教育の充実を図る。	・各健康診断を企画運営し、生徒の心身の健康状態を把握する。⑮	A		
		・学年の先生方や教育相談担当と連携した保健室運営を展開し、心の居場所作りを目指す。⑦	A		
		・新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症に対し適切な対応を行い、校内での流行を最小限に食い止める対策を講じる。⑦	B		
渉外部	教員と保護者が連携協力して活動を工夫するPTA組織をめざす。	・PTA総会の出席していただけるよう、保護者の理解に努める。⑬	B	A	・PTA 総会の出席や学校行事への保護者の協力については、引き続きPTA役員さんと検討を続けることで、より適正に行えるようにしたい。 ・それ以外の項目については、概ね達成したと思う。
		・学校行事への保護者の協力について検討する。⑬⑮	B		
		・PTA活動に対する保護者の負担感を減らす。⑮	A		
	各種委員会活動の適正な活動を計画支援する。	・広報紙「PTAだより」を発行する。⑬ ・各種委員会活動の見直しを行う。⑮	A A		
	同窓会との連携を図る。	・同窓会活動に協力する。⑬	A		
特別活動部	生徒会活動への支援や生徒会主催の学校行事の充実を図る。	・昨年度に引き続き、生徒会本部の定例会を毎週実施し、指導助言をとおして、生徒会役員のリーダーとしての資質の向上を目指す。また、活動内容については行事毎にPDCAサイクルを行い、作業の効率化や反省等をする。新しい行事を企画する。⑧	B	B	・生徒会の定例会はほぼ実施できて、行事について多くの意見交換や実施すべき点について話し合うことができた。他の校務分掌ともしっかり打ち合わせが十分ではなかったので、打ち合わせをした上で行事を実施したい。 ・部活動の加入率が高くない状況が続いている。昨年度よりは加入率は増加したが、もう少し加入率を上げていきたい。
		・文化祭・クラスマッチ・予餞会等の企画内容を生徒自らが検討し責任をもって取り組み、達成感を得られるようにする。⑧	B		
	部活動の活性化を図る。	・新入生に向けて部活動紹介を実施し、全員に部活動入部届を配付するだけでなく、ポスター掲示や各部のPRを増やし、部活動への興味関心を高めるよう工夫する。⑧ ・顧問の適材適所への配置、適切な予算の配分を行うとともに、外部指導者活用など今後の地域移行への体制を整える。⑧⑭	B B		
	ボランティア活動・地域活動への積極的参加を図る。	・ボランティア・地域活動の募集に関して、わかりやすい情報提供を行い、生徒の主体的参加をうながす。⑪⑫	B		
第1学年	基本的生活習慣の確立を図る。	・言葉遣いに気をつけ、挨拶を的確にできるようにする。⑦	B	B	・主体的な学習態度の育成をこれからも重視していく。 ・普通科の資格取得に対する支援の充実。(進路時) ・希望進路決定に対する支援の充実。(ガイダンス) ・規範意識と身だしなみの強化。(スカート丈など)
		・時間を守り、規律正しい生活をさせる。⑦	B		
		・毎日の授業に真剣に取り組ませ、学ぶ姿勢を育てる。⑤	A		
	基礎学力と学習習慣の定着を図る。	・各種検定に積極的に取り組ませ、資格取得を目指す。⑥	B		
		・自らの志望や適性について意識させ、進路目標を持たせる。⑩	B		
	進路目標を設定する。	・進路ガイダンスや面談を通して、進路選択の支援をする。⑩	A		
・部活動や生徒会活動、校外活動などへの積極的参加を促す。⑧		B			
活力ある学校生活を送る。	・服装・身だしなみを整えさせる。⑦	B			

別紙様式2 (高)

第2学年	基本的な生活習慣の確立を図る。	・欠席・遅刻・早退を無くし、規律正しい生活をさせる。⑦	C	B	【成果】 ・各科、各教科の先生方の協力による検定に対する積極的な取組。 ・各教員の丁寧な個別指導による迅速な対応。 【課題】 ・生徒全員の希望進路決定に向けた進路活動の充実。 ・生活指導の強化。
		・授業への積極的な取り組みを促す。⑤	B		
	基礎学力の向上を図る。	・各種検定に積極的に取り組ませ、資格取得を目指す。⑥	A		
		・基礎力診断テストを活用し、進路実現を意識した学習の取り組みを促す。②	B		
	進路指導の充実を図る。	・各種進路行事等の有効活用を図る。⑩	B		
	・面談や進路情報の提供をとおし、一人ひとりに合った進路選択を支援する。⑨	B			
	社会性・他者への思いやりの心の育成を図る。	・いじめの未然防止に努める。⑨	A		
		・面談やガイダンスを通して、自らの志望や適性について自覚させ目標を持たせる。⑨	B		
第3学年	進路希望の実現を図る。	・面接指導や面談を通して情報の提供を適切に行い、自らの進路に対して広い視野をもった判断ができるようにさせる。⑥⑩	B	B	・面接指導、面談ともに担任を中心として密に行うことができた。 ・就職希望者に関しては進路指導部・保護者とも連携をとり指導することができたが、進学希望者に関しては、2025年度からの補助金に対する保護者の理解が曖昧であることから、金銭的理由で入学辞退者が出てしまうなど、反省すべき点があった。 ・1年時にはいじめ認定があるなど、注意を必要とした学年であったが、今年度はいじめに該当する案件はなかった。
		・進路指導が円滑に進むように、進路指導部や保護者との連携を密にする。⑥⑩	B		
		・日常生活を通じて、時間を守ることや挨拶の大切さ、適切な言葉遣いを身につけさせる。⑦	B		
	基本的な生活習慣の定着を図る。	・服装・身だしなみを整え、最上級生としての行動ができるようにさせる。⑦	B		
		・保護者との連携を大切にし、信頼関係と協力体制の構築に努める。⑮	A		
		・授業に真剣かつ積極的に取り組み、自ら学ぶ姿勢を身につけさせる。④	B		
	基礎学力の向上を図る。	・家庭学習や課外授業を通して、進路実現を意識した学習の取り組みを実践させる。⑥⑩	B		
		・学校行事をはじめ、各種活動への積極的な取り組みを促すとともに、下級生の模範となるような態度で臨めるようにさせる。⑦	B		
社会性・他者への思いやりの心の育成を図る。	・いじめの未然防止に努める。⑦	A			

※ 評価規準 A：大変良くできた B：良くできた C：普通 D：やや不十分 E：不十分